俵山SAKURAプロジェクト（仮）

提 案 書

2014年2月

公益社団法人 長門青年会議所

はじめに

TAWARAYAMA SAKURA PROJECT

長門市は、2011年の「おいでませ!山口国体」のラグビーフットボール競技（少年男子）の競技会場となったことを契機として、「ラグビーフットボール」を核とする「まちづくり」に取り組み、2019年に開催される「ラグビーワールドカップ日本大会」のキャンプ地招致活動に乗り出しました。

また、長門青年会議所は、昨年韓国鎮海青年会議所と姉妹提携45周年を迎え、日韓親善事業に長年取り組んでいます。

この2つの事柄に共通するキーワードは「国際」、「交流」、そして「桜」です。

「桜」は、日本を象徴する花樹であり、古くから愛され続けています。

「ラグビーワールドカップ日本大会」のキャンプ地候補の俵山を「桜」で満たしたい。

それが私たちの願いです。

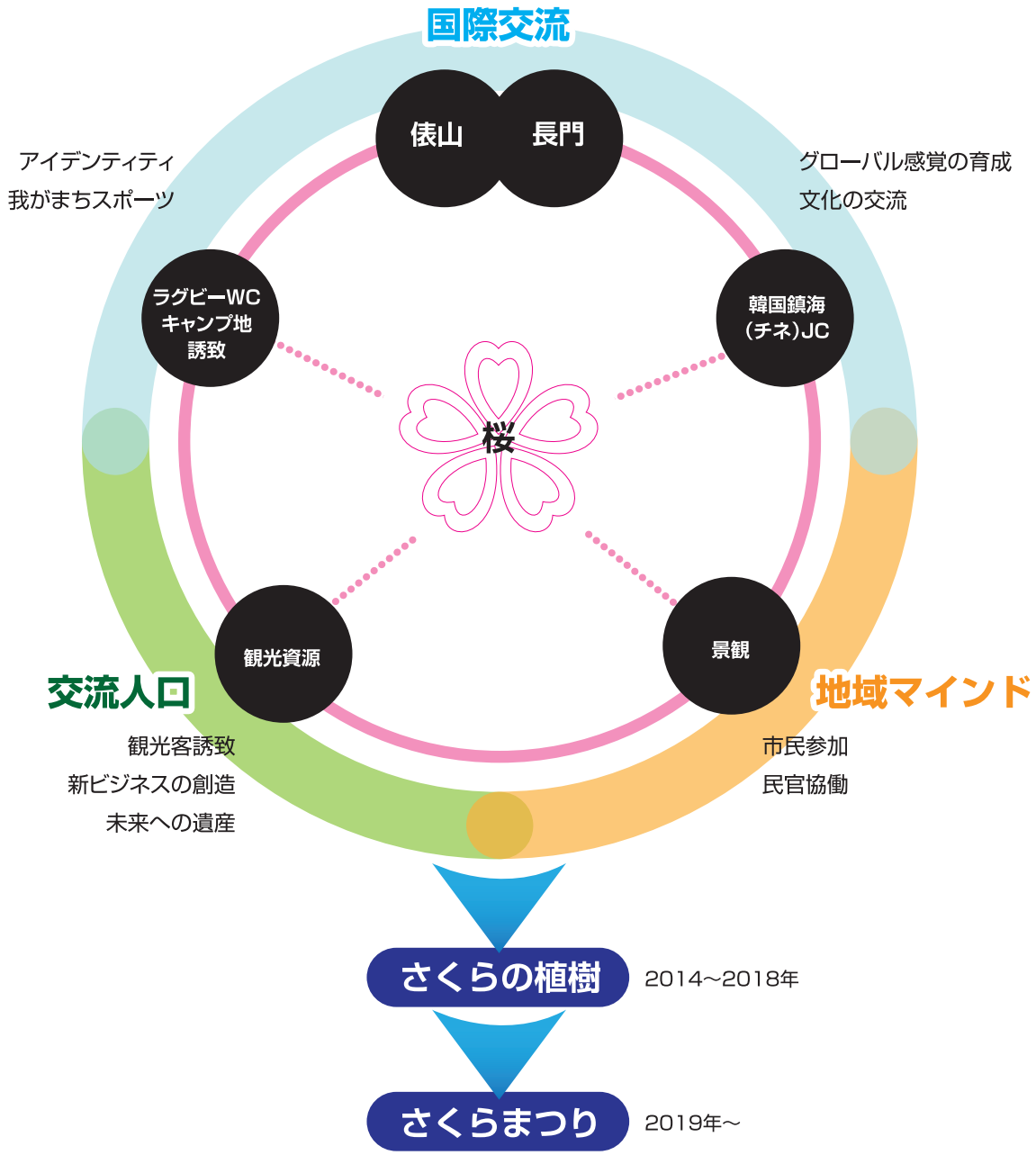
2019年を第1のゴールと見据え、俵山一帯に「桜」を計画的に植樹し、最終的には「さくらまつり」の開催を目指します。

「桜」をテーマとした本プロジェクトは、地域の景観づくりだけではなく、交流人口の拡大による地域の活性化や、郷土愛の醸成など、未来にわたって長門市のまちづくりにも大きく寄与するものと考えます。

何卒、本プロジェクトへのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

プロジェクト概念図

TAWARAYAMA SAKURA PROJECT



期待される効果 ▶

- 交流人口の拡大による地域の活性化
- 消費拡大による地域の活性化
- 観光資源や地域特産物の広報
- 地域のおもてなし等受入体制の充実
- 子どもたちの郷土愛の醸成

コンセプト ①

TAWARAYAMA SAKURA PROJECT

国際交流

国際交流① ラグビーワールドカップキャンプ地招致活動と桜

長門市は、2019 ラグビーワールドカップの日本開催に向けて、
キャンプ地招致の活動の推進に乗り出している。

ラグビー日本代表の
シンボルは、「桜」

「桜」をコンセプトにした、本プロジェクトは、ラグビーを「我まちスポーツ」とする
長門市のアイデンティティを高め、招致の大きなアドバンテージとなりうる。

国際交流② 日韓親善交流と桜

長門青年会議所は、昨年韓国鎮海（チネ）青年会議所と姉妹締結45周年記念を迎えた。
鎮海は桜の街として有名で、本プロジェクトを通じて、さらなる人的・文化的な国際交流
が期待でき、子どもたちのグローバル感覚の育成にも役立つ。

韓国海軍の軍港がある鎮海(チネ)は海軍の街としてだけでなく、春になると街中に植えられた約34万本の桜に彩られる街としても有名である。毎年春には、海軍と桜をあわせた祭り、軍港祭が開催され、国内外から多くの観光客が鎮海を訪れる。

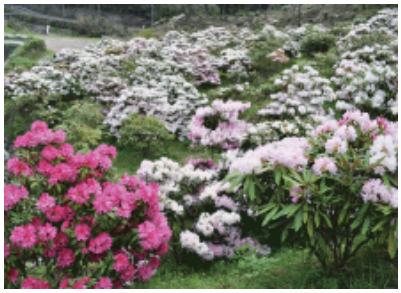
コンセプト ②

TAWARAYAMA SAKURA PROJECT

交流人口

① 観光客誘致としての桜

桜は、俵山温泉の春シーズンの観光資源となりえる。
近郊のしゃくなげ園と連携して、主に日帰客の誘致が期待でき、
俵山温泉の入湯客の増加が見込める。



② 新ビジネス創造としての桜

観光客に向けた桜をモチーフにした物産品やお土産品等の商品開発や
飲食スペース、宿泊プラン等新たなビジネスの展開が期待できる。

③ 未来への遺産としての桜

桜は長期的な観光資源であり、未来へ継承できる。

コンセプト ③

TAWARAYAMA SAKURA PROJECT

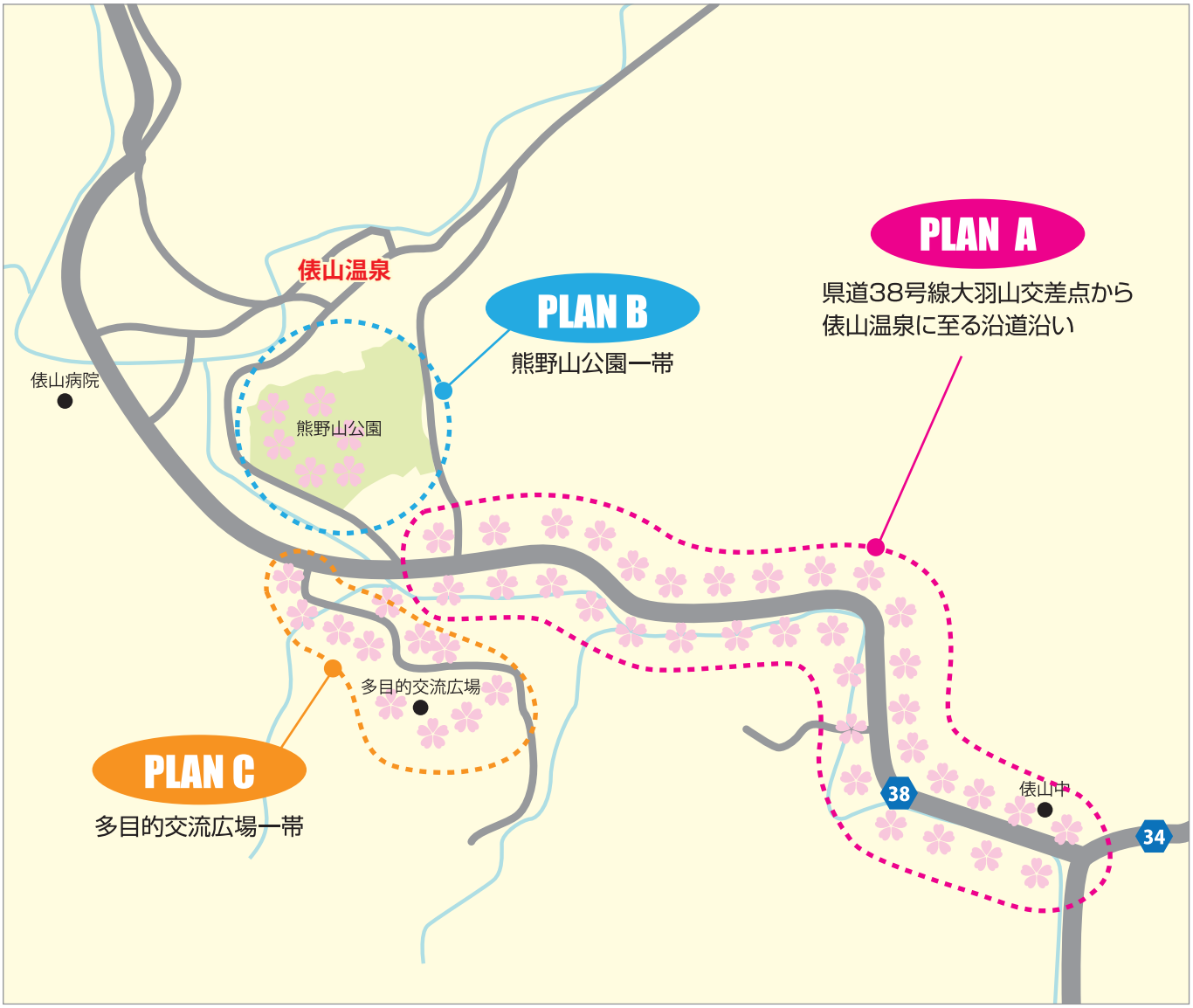
地域マインド

景観

桜の花は古くから人々に親しまれ, 私たちの心を和ませてくれる。
桜に彩られた空間は、地域に華やかさと潤いを与える。

市民参加
民官協働

例えば、桜の苗木オーナーを市民から有料で募集する等、
市民の参加による、植樹や維持管理をイベントとして展開。
民官が一体となって、市民の手でプロジェクトを推進することで、
郷土への愛着や誇りが生まれ体感を醸成する。

プロジェクト・計画図

TAWARAYAMA SAKURA PROJECT